

AIフルーエンシー・フレームワーク

AIとのやり取りを、効果的・効率的・倫理的・安全なものにするために欠かせない、4つの結びついた力。 (The AI Fluency Framework)

4Dフレームワーク The 4D Framework

委任 Delegation

目的を定め、AIと関わるかどうか・いつ・どのように関わるかを決める。

見極め Discernment

AIの出力やふるまいの有用性を、的確に評価する。

描写 Description

役立つAIのふるまいや出力を引き出せるよう、目的を効果的に描写する。

確認責任 Diligence

AIで何をするか、どうするかについて、責任を引き受ける。

主要概念 Key Concepts

人とAIの関わり方（3つのモード）：

- ・ **自動化** Automation：AIが、人の指示にもとづいて特定のタスクを実行する。
- ・ **拡張** Augmentation：人とAIが、考えるパートナーとして協働する。
- ・ **エージェンシー** Agency：人がAIを設定し、自分に代わって今後のタスクを自律的に行わせる。

- ・ AIフルーエンシーとは、効果的・効率的・倫理的・安全なやり方でAIシステムと関わることです。
- ・ 委任・描写・見極め・確認責任という力は、スキル・知識・洞察・価値観が結びついた集まりです。